

RPPC メールマガジン 第 850 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 11 月 25 日）

※内容を一部差替えさせていただきます。

何卒よろしくお願ひ致します。

■事務局からのお知らせ

1) 令和 2 年度 リサイクルポートセミナー結果

令和 2 年 11 月 24 日（火）14:00～17:00

当日会場参加者：26 名

オンライン視聴者：89 名（申込数）

後日視聴者（12 月 25 日迄）：11 名（申込数）

2) 令和 2 年度 第 1 回 調査研究部会

令和 2 年 12 月 9 日（水）13:30～15:00

会場：みなと総合研究財団 3 階 会議室

WEB 会議（Webex）併用

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.財務省主計局長に予算要望活動。港湾予算の重要性説明

自由民主党港湾議員連盟（竹下会長）は 11 月 17 日、財務省の矢野康治主計局長を訪問し、令和 3 年度の港湾関連予算確保等を要望した。矢野局長は、「しっかり勉強して対応して参りたい」などと応えた。財務省への要望活動に参加したのは竹下会長をはじめとする 20 名。本年はコロナ感染症対策を考慮し、人員を制限しての活動になった。

矢野局長への要望では、先に議連が決議した「港湾整備・振興に関する決議」の内容を説明し、「防災・減災、国土強靱化のための三カ年計画緊急対策」の延長の必要性など、様々な視点から港湾整備の必要性と重要性を訴えた。

2.中国地域港湾の中長期構想検討開始、年度内策定へ

中国地方整備局港湾空港部は、今後 20～30 年先を見据えた「中国地域港湾の中長期

構想」を策定することとし11月6日、長期構想検討委員会（委員長・津守貴之岡山大学大学院教授）の第1回委員会を開催した。来年1月22日に第2回委員会を開いて素案を打ち出すと共に今年度内に中長期構想を策定する。

国土交通省では2018年に「港湾の中長期政策『PORT2030』」をまとめており、中国地整港湾空港部では、同方向を受けて中国地域の港湾を対象とする中長期構想を策定する。

同構想の検討では中国地域港湾を取り巻く現況・課題を▽社会経済、▽産業・物流・生産性向上、▽観光交流・環境、▽安全・安心、等の視点で洗い出しを行い、将来を見据えた中国地域港湾の施策を打ち出す。

3.北海道港湾の中長期政策、第1回有識者検討会開催

国土交通省北海道開発局は11月10日、「第1回北海道港湾における中長期施策に関する有識者検討会」を開催した。

北海道開発局では、今後30年での経済情勢の変化や技術革新を念頭に、2050年における北海道港湾の理想の姿について検討を開始しており、同検討会では観光やITなどの道内経済界から有識者を招き、議論を行った。

会の冒頭、座長の箕作幸治 北海道開発局港湾計画課長が「人口減や気候変動の状況は踏まえつつ、30年後の北海道港湾の可能性について、自由な発想で明るく議論していきたい」と開会の辞を述べた。

有識者からは、「北海道の食料生産の機能は世界の食糧危機を救うポテンシャルがあり、それを物流面から支えるべき」、「北海道の寒さを武器に全国に先駆けた一大データセンターを構築できるが、膨大な電力エネルギーが必要であるため、その供給基地を港湾が担うべき」といった将来像に関する意見が挙げられた。

港湾空港タイムス 11月23日号から編集

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください